

技術移転部

技術移転部長

梶原 義範 Yoshinori KAJIHARA



技術移転部は、2016年4月、農研機構の改革による農村工学研究部門への名称変更に伴い、部門の内部組織として発足しました(旧技術移転センター)。

技術移転部においては、部長の下に、幅広い高度な専門知識と経験を有する「教授」職及び移転推進室、技術研修室の体制で、研究業務と技術研修業務の連携強化、関連の技術開発および行政による事業現場等に対する技術移転業務の高度化と効率化を図っています。具体的には、かんがい排水と農地等の土地改良施設等を効果的効率的に整備・保全するための研究開発とともに、農業農村の活性化や農村環境の維持と農村の再生に資する研究を実施する研究機関として、(1)研究成果の普及、(2)知的財産の活用、(3)国営事業地区など生産性向上に取り組んでいる地域への技術支援、(4)技術者の研修等継続教育、(5)資金提供型共同研究等の業務を行っています。

2018年度からの農研機構の新たな執行体制の下、政府が目指す農業イノベーションの推進によるSociety5.0の実現に向けて、研究成果の社会実装を促進する必要があります。このため、技術移転部は、農林水産省とも連携し、農業や農村の活性化に取り組む方々に寄り添い貢献できるよう、研究部門と一体となって農村の振興に貢献する活動を展開してまいります。関係方面のご理解とご協力を、宜しくお願い致します。